



総務省

ゲリラ豪雨から危険を回避！

最新気象レーダが拓く安心・安全な社会2015

平成27年12月24日に京都市下京区のキャンパスプラザ京都において、次世代安心・安全ICTフォーラム及びけいはんな情報通信オープンラボ研究推進協議会の主催による最新の気象レーダに関するセミナーが開催され、44名の方にご参加いただきました。

最初に、次世代安心・安全ICTフォーラムの福地一会長による主催者挨拶と総務省情報通信国際戦略局技術政策課研究推進室の鈴木イノベーション推進官からの来賓挨拶の後、国立研究開発法人情報通信研究機構の井口俊夫氏による「フェーズドアレイ気象レーダの開発」の基調講演が行われ、“レーダとは？”から始まり、初期の気象レーダからフェーズドアレイ気象レーダまでのレーダ開発の歴史をその必要性とともに振り返りながらお話いただきました。

続いて行われた講演内容は、以下のとおりです。

- 「ゲリラ豪雨の早期探知と危険性予測」
中北 英一 氏（京都大学防災研究所）
- 「フェーズドアレイ気象レーダを活用したアプリによる、実証実験の結果について」
小池 佳奈 氏（株式会社エムティーアイ）
- 「『ビッグデータ同化』でゲリラ豪雨に挑む」
三好 建正 氏（理化学研究所 計算科学研究機構）
- 「フェーズドアレイ気象レーダの研究開発と今後の展望」
牛尾 知雄 氏（大阪大学）



会場の様子

【グローバルコミュニケーション計画の推進】

奈良県明日香村で利活用実証現地導入説明会を実施

総務省が推進するグローバルコミュニケーション計画の平成27年度「多言語音声翻訳技術の利活用実証」実施団体として採択された「奈良県明日香村」において、実証実験に参加いただく方への現地導入説明会が平成27年12月17日に開催されました。

説明会では、総務省が委託した「利活用実証取りまとめ団体」である、(株)リクルートライフスタイル、(株)リクルートコミュニケーションズ及び(株)ATR-Trekより、利活用実証の目的、進め方及び実験用に開発された多言語音声翻訳システム「VoiceTra. R」の操作説明が行われ、参加したゲストハウスや観光案内所、レンタサイクル等、外国人観光客に接客されている方々は、熱心に操作方法を確かめていました。

利活用実証は、あらゆる人にとって使いやすい多言語音声翻訳システムを実現するため、様々な利用者に実際に使用して評価をしていただき、システムの性能向上を図ることを目的に実施するもので、平成28年2月末までの間、明日香村を含む全国5カ所で実施されています。



主語・述語をはっきりさせた文章がきちんと翻訳されやすいようです。



総務省

近畿の特定信書便事業者3者に許可状を交付

平成27年12月17日近畿総合通信局 局長室において、平成27年12月11日付けで特定信書便事業の許可となった近畿管内の特定信書便事業者3者に対して、許可状を交付しました。

交付のあとは、上原局長から「信書というものは通信を扱う業務であり、憲法にも定められている通信の秘密を守るためコンプライアンスについて徹底して頂きたい」と、事業者に対して一言挨拶がありました。

今回の許可により、近畿2府4県の特定信書便事業者は、85者（滋賀県3者、京都府8者、大阪府54者、兵庫県15者、奈良県3者、和歌山県2者）となりました。



株式会社大和産業
(代表取締役 廣池 正勝 氏)



株式会社運び屋商会
(代表取締役 三宅 友理子 氏)



株式会社ヤマヒロ運輸
(代表取締役 安原 信行 氏)

和歌山放送FM補完局に予備免許通知書を交付

近畿総合通信局は、株式会社和歌山放送から免許申請のあったFM補完中継局に対して、平成27年12月22日付けで予備免許通知書を交付しました。

この補完中継局により、和歌山市内及び周辺部の都市化や地形が原因でAMラジオ放送が聞きづらい地域において、難聴の解消と音質の改善が期待されます。試験放送を経て、平成28年春頃から本格的に放送を始める予定です。



(株)和歌山放送 代表取締役社長 中島 章雄氏

FM補完中継局の概要

申請者	株式会社 和歌山放送
送信所設置場所	岩屋山
周波数	94.2MHz
空中線電力	500W
本放送開始予定	平成28年春頃



総務省

e-かわらばん近畿

近畿総合通信局

2016年2月8日

第208号 3/3

動画フェスタin近畿 2016作品募集



スマちかちゃん

募集期間 平成28年7月1日(金)～9月2日(金)17時必着

インターネットやスマートフォンの安心・安全な利用に関係する動画を募集します。動画フェスタin近畿はインターネット利用者の意識の向上を地域から押し上げる仕組みづくりとして昨年から実施しているものです。訴求効果の高い動画の制作と活用を通じて、青少年がインターネットを安心・安全に利用するための情報モラルやセキュリティに関する知識の向上及び注意喚起に対して自らの問題として考える動機づけとして開催します。

募集要領など、詳細は下記のホームページをご覧ください。

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/sumaho-kinki/index.html>

総務省近畿総合通信局が、子どもたちのネットリテラシー向上のために行っている「動画フェスタ」は非常に意義深いものと思っています。

子どもたちのインターネットの問題は、連日、マスコミでも報道され、社会問題になっていますので、学校関係者や警察等も懸命に対策に乗り出していますが、なかなか効果があがりません。私自身も、スマホ連絡会（近畿）※の座長として近畿各地の子どもたちへの啓発活動に関わっていますが、大人の一方的な投げかけではこの問題の解決は難しいと感じています。大人より子どもたちの方がこの種の問題には知識も経験もあるので、大人の声はなかなか響きません。また子どもたち自身も、ネットや情報端末とは日々、身体の一部のように接しているので、なかなか客観的に見つめ直すことができません。

それに対して「動画フェスタ」の取り組みは、子どもたち自身が啓発のための動画を作成しますので、じっくりとこの問題を考えるきっかけになります。また、できた作品は、子どもたち目線でできたものであるため、訴求力が高いです。前回もこの取り組みに関わりましたが、完成度の高さに驚いたのを覚えています。

今回は、トライアルの意味で、スマホ連絡会（近畿）の中での募集でしたが、今回は募集の枠を近畿地方全体に広げていくとのことですので、さらにすばらしい作品に出会うことができそうで、今から楽しみです。



動画フェスタin近畿実行委員長
兵庫県立大学 環境人間学部
准教授 竹内 和雄 氏



前回の最優秀賞受賞作品
「怖すぎるよ！ネットトラブル！」

主催：「インターネットの安心・安全に関する動画フェスタin近畿」実行委員会

※スマホ連絡会（近畿）：近畿管内の2府4県の関係団体（自治体、警察、PTA、学校関係者、有識者等）で構成する広域的な連携組織として、青少年のインターネット・リテラシー向上に資する情報共有や啓発活動等を行っています。

（平成24年12月設立、平成28年1月現在の構成・協力団体66団体）